

# 飛 翔

石川県立金沢西高等学校同窓会

〒920-0344 石川県金沢市畝田東3-526  
TEL 076-268-4321/FAX 076-268-7329  
URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>



## 危機を乗り越えて40年

同窓会長 石動 博一  
(3期生/昭和54年卒)



金沢西高校は、今から40年前の昭和49年の1月に石川県立金沢西高等学校の設立が認可され、同年4月に金沢市緑が丘の教育センターを仮校舎としてスタート、翌年3月によく藤江の新校舎に移転しました。当時、私が第3期入学生として入学して初めて、一年生から三年生まで揃った、当時とても新しい学校でした。校舎も生徒も先生も新しづくめで、田んぼの中を通る一本道、生徒の間では「シベリア街道」と言われていた道路でさえも、まだ未舗装でした。

それから約20年後、金沢西高校に危機が訪れました。石川県庁の駅西への移転に伴い、西高校の移転・統廃合問題が持ち上がったのです。当時の同窓会は、まだ新しい学校という事で全員まだ30代。しかし「金沢西」という名前を残すために、石川県知事や県議会へもお願いにあがり、その努力の甲斐があって、現在の畝田の校舎に、平成10年に無事に移転できたのです。あの時の同窓会を支えた、先輩方の力が無ければ、今回、40周年を迎える事は出来ませんでした。

すでに卒業生は、13,000人を超え、県内外の各界で活躍していますし、金沢西高校は、文武両道に優れた素晴らしい高等学校として、その名声は高まり続けています。同窓会としても、全教室へのクーラーの設置に伴う、資金繰りへの協力や、西高祭への協力として、同窓会ブースを出展したり、PTAに対してのバザーの協力や年に一度の合同懇談会など、学校の為にできる事を模索し、活動し続けています。

更に今年は、40周年に向けて、記念事業を企画し、各年代の同窓会が開けるような、きっかけ作りや、その連絡に伴う費用の一部負担などを通して、同窓会活動を活性化し、前述した統廃合の危機に立ちあがった先輩達のように、母校の発展のために力を尽くしたいと思います。

## 挨拶

学校長 太田 淳子



本校は、昭和49年4月に開校し、平成8年度には、本県の全日制高校では初めての普通科単位制高校に移行し、以来、個性伸張・学力向上・進学重視の教育に邁進してきました。今年度は節目の創立40周年を迎え、9月28日の創立記念式典に向けて、現在準備を進めておるところでございます。卒業生は既に1万3千人を越え、県内外のいろいろな分野・各界で活躍されています。特に、昨年度は、西高初のプロ野球選手が誕生し、全校が喜びに湧きました。また、新学習指導要領の完全実施の年で、四年制大学志望者の割合が多くなっていることもあり、1年生より順次、学年制に変更することになりました。このように、西高は県民のニーズに応えるべく、進化し続けてゆきます。

昨年度は、歴代の校長が掲げてきた「西からの新しい風」、西高旋風を吹かせたいという強い思いでスタートし、弓道部、陸上部、フェンシング部、レスリング部等が全国選抜大会に出場しました。また、多くの部がベスト8以上に入り、県高校総体の女子の総合成績が県で第4位、公立高校ではNo.1の素晴らしい結果を取ることができました。

進学においても、卒業生315人のうち7割以上が四年制大学へ進学し、特に、国公立大学については100名合格を目指し、金沢大学10名、富山大学31名を始めとして80名が合格するなど、進学校としての地位を確立しつつあります。

今年度は、県より昨年度指定された「高等学校連携による教育力向上推進事業」を引き継ぎ、部活動の勢いを勉強につなげ、文武両道のバージョンアップを図るとともに、読書活動の一つの試みとして一昨年度指定された「魅力ある県立学校づくり推進事業」による絵本・紙芝居制作・読み聞かせの活動を、さらに発展させてゆきたいと思えます。

以上、私たち職員一同、生徒の輝かしい未来と本校の飛躍と発展のため、また県民の期待と信頼に応えるために、心一つにして頑張っていきます。同窓会の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。